

は じ め に

近年の小売商業を取り巻く環境は、消費者ニーズの多様化、大型店の郊外進出、インターネット取引の普及などにより大きく変化しています。

また、国においては、人口減少・少子高齢化社会の進行を見据え、コンパクトなまちづくりによる中心市街地活性化の取組を進めています。

こうした中、小売商業においては、日々変化する消費者ニーズや地域の商圈の動向を的確に把握し、魅力ある店舗づくりに取り組むとともに、まちづくりと一体となった商店街・商業集積づくりを進めていくことが、以前にも増して求められています。

このため、県では消費者の購買行動の実態を把握し、県内の商圈の実情を明らかにするため、昭和39年度以降、山口県買物動向調査を定期的を実施しており、この度、平成24年度の調査結果をとりまとめました。

本報告書が地域商業活性化の基礎資料として、関係機関や商業団体等において幅広くご活用いただければ幸いです。

最後に、本調査の実施にあたり、調査票の配布、回収等で全面的にご協力いただきました市町の皆様並びに調査票にご記入いただきました県民の皆様に対し、厚くお礼申し上げます。

平成26年3月

山口県商工労働部長

木 村 進